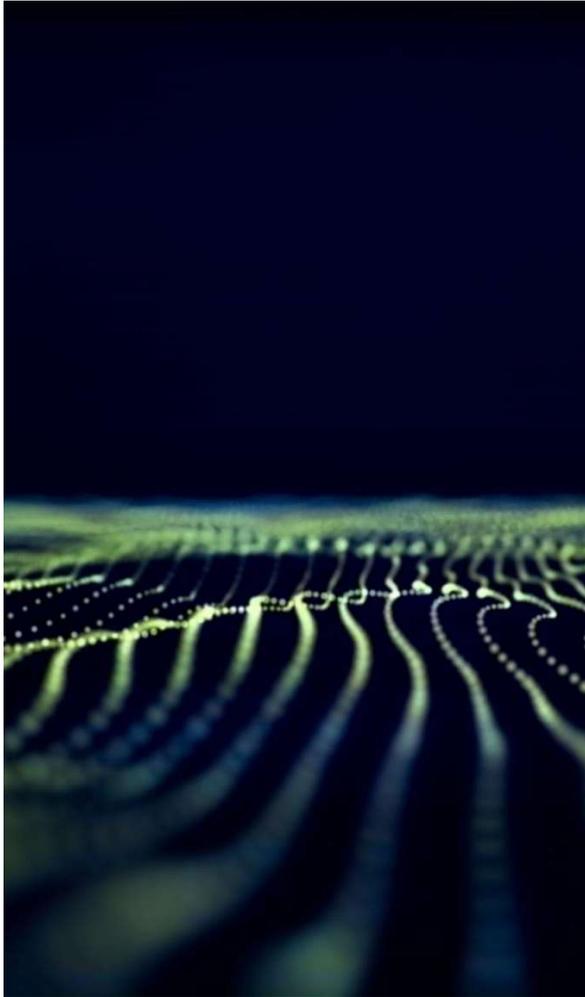


常微分方程式とラプラス変換：演算子法はどのようにして誕生したか？



1. 担当教員：五十子幸樹教授（災害科学国際研究所）

Phone: 022-752-2116, e-mail: koju.ikago.e8@tohoku.ac.jp

2. 初回開始日時 10月10日（金）16：20～

3. 場所

災害科学国際研究所 4F 演習室A

本テーマでは、工学における振動とその制御の基礎を理解するための常微分方程式論とその解法について解説し演習によって理解を深めます。19世紀末にオリバー・ヘビサイドが考案した演算子法は、常微分方程式を代数的に解くことを可能にする実用的な方法ですが、後の数学者により厳密性の検討がなされLaplace変換として体系化されたものです。このようなことから、Laplace変換は応用的な側面が大いにあることがわかります。本研修では、数学的な厳密性ひとまず脇において、常微分方程式の実用的な解法を考え、身につけることを目的とします。